

鶴城地区

これからの地域コミュニティを 考えるワークショップ

2026年1月18日
会津若松市

(事務局支援:株式会社NTTデータ経営研究所)



会津若松市

本日の日程

1. 開会【会津若松市】（5分）

2. 説明

- 事業概要説明【会津若松市】（10分）
- ワークショップ説明【株式会社NTTデータ経営研究所】（20分）

3. ワークショップ【株式会社NTTデータ経営研究所】

- テーマ「これからの地域コミュニティのあり方について考えましょう」
 - ①個人ワーク（20分）
 - ②ディスカッション（30分）
 - ③グループワーク（30分）
- 全体発表（30分）

4. 連絡事項【会津若松市】（5分）

次期総合計画策定における市民参加の状況

現在、会津若松市では「将来こんなまちにしたい」というまちづくりを進めるための「道しるべ(=総合計画)」を策定しています。策定にあたっては市民の意見を多様に取り込むことを重視しており、本市が目指すべき将来の姿やその実現に向けた方向性などを話しあう「新たな総合計画策定市民会議」や、若者や子育て世代の視点から考える「あいづわかまつ若者会議」、「子育て世代ワークショップ」を開催しています。

関連会議

新たな総合計画策定市民会議（計7回開催）

- 会津若松市が目指すべき将来の姿やその実現に向けた方向性などに関することを話しあう



あいづわかまつ若者会議（計3回開催）

- 若者の視点から「暮らしたいまち」、「働きたいまち」など、まちづくりに関する想いや将来の望ましい姿等について話し合う会議



子育て世代ワークショップ（計3回開催）

- 子育て世代の方々に、「子育てしやすいまち」、「子どもと暮らしたいまち」などについて、将来の望ましい姿について話し合うワークショップ



本ワークショップの概要

本ワークショップでは、地区にお住まいの幅広い年代の方々と各地区の現状や課題、特徴を共有し合い、これからの地域コミュニティのあり方について考えていただきます。

各地区の皆さまの声は次期総合計画の策定における参考情報として活用させていただきます。

テーマ

これからの地域コミュニティのあり方について考えましょう

1

地区の現状を知り、気づき・問題意識などを個人で書きだす



2

気づきや問題意識など個人の意見を共有する



3

地区の問題点を整理し、
「何が必要か」、「地域や個人で何ができるか」を考える



「これからの地域コミュニティを考えるワークショップ」

① 個人ワーク

地域カルテを活用し、地区の現状を確認しましょう。

そのうえで、「地区の現状から得られた気づき」や「地区における問題意識や困りごと(または魅力や助かっていること)」を記入シートに書きだしましょう。

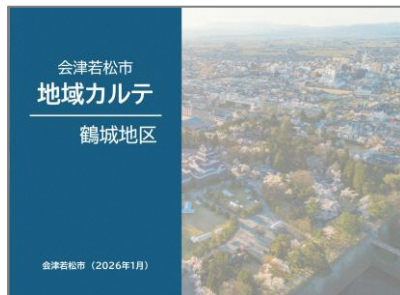
1

地区の現状を知り、気づき・問題意識などを個人で書きだす



①地区の現状を知る

地域カルテ



人口をはじめとした基礎的な統計情報等を地区ごとにまとめ、地区を現状を「見える化」したものです

<記載項目>

- 地区の概要
- 活動・組織などの状況
- 総人口と年齢3区分別の人口推移
- 人口構造(高齢化率の状況)
- 世帯数・世帯構造
- 児童生徒数の状況
- 地域とのつながりの状況

②気づき・問題意識などを書きだす

記入シート

記入シート		グループ	
選択テーマ		お名前	
<input type="checkbox"/> 移動・交通	<input type="checkbox"/> 高齢者支援		
<input type="checkbox"/> 防犯・防災	<input type="checkbox"/> 生活環境		
<input type="checkbox"/> 伝統文化・行事	<input type="checkbox"/> 教育		
<input type="checkbox"/> 観光	<input type="checkbox"/> 観光促進		
	<input type="checkbox"/> 子育て支援		
	<input type="checkbox"/> 地域活動		

①地域カルテから得られた気づきを教えてください(意外だった点、感じていた点との認識など)

--	--

②①を踏まえ、地域活動の中で感じている問題点や強み・魅力を教えてください

--	--

③②を踏まえ、今後地域で取り組んでみたいことや必要なしくみ等を考えてみましょう

--	--

<進め方>

検討テーマを1つ選択(p6参考)

- ① 地区の現状から得られた気づきを書いてみましょう
- ② 地域活動の中で感じている問題点や強み・魅力を書いてみましょう
- ③ 今後地域で取り組んでみたいことや必要なしくみ等を考えてみましょう



会津若松市

「これからの地域コミュニティを考えるワークショップ」 参考) 検討テーマについて

検討テーマ(地域コミュニティに期待される機能)

生活支援・福祉

● 移動・交通

- ✓ 互助輸送

● 高齢者支援

- ✓ 見守り、孤立防止
- ✓ 買い物支援

● 子ども支援

- ✓ 見守り
- ✓ 交通安全

安全・安心

● 防犯・防災

- ✓ 見回り
- ✓ 避難支援、物資供給

● 生活環境

- ✓ ごみ収集
- ✓ 清掃活動

交流・文化

● 伝統文化・行事

- ✓ 祭り・伝統行事の開催
- ✓ 歴史・文化の継承

● 教育

- ✓ 生涯学習
- ✓ 地域教育

● 親睦・交流

- ✓ レクリエーション活動
- ✓ 多世代交流

行政連携

● 観光

- ✓ 観光地域づくり

● 情報伝達

- ✓ 広報紙等の配布
- ✓ 住民の要望・意見集約

● 地域活動

- ✓ 体制整備
- ✓ 財源の確保
- ✓ 多様な主体との連携

② ディスカッション

さまざまな参加者の立場からディスカッションしてみましょう。

2

気づきや問題意識など個人の意見を共有する



ディスカッションテーマ

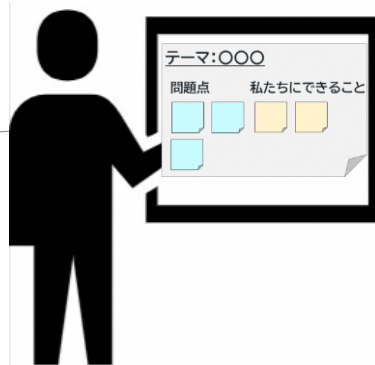
- 選択したテーマは何ですか。
 - ① 地区の現状について何がわかりましたか、何か気になったことはありますか。
 - ② 地域活動のなかで感じている問題点や強み・魅力にはどのようなことがありますか。
 - ③ 今後地域で取り組んでみたいことや、どのようなしくみが必要だと思いますか。

「これからの地域コミュニティを考えるワークショップ」 全体発表

各グループごとに全体発表し、共有しましょう。

発表のイメージ

私たちのグループでは、〇〇や
〇〇が問題点ではないかという
意見が出ました！



〇〇の問題点に対して、私たち
は△△の取り組みが必要と考え
ました。

